

## はじめに

本報告書は「国際ビジネスファイナンス研究会」における 2016 年度の研究内容を報告するものである。2016 年 8 月に発行した第 1 巻\* に続いて本研究会として 2 冊目の報告書となる。2016 年度は麗澤大学東京研究センターにおいて 6 回の研究会を開催した。研究会での報告内容は、海外直接投資、為替リスク管理、国際金融、資本コスト、国際不動産投資など国際ビジネスファイナンスの話題から、エネルギー問題、知的財産権、マイクロインシュアランス、年金問題、リサイクルビジネスなど多岐にわたった。本報告書ではそれらのなかから 6 つの話題について報告をする。

上村報告書「日本企業における多国籍度と株主資本コストの関係について」は第 1 巻に掲載の報告書に引き続き、多国籍度と株主資本コストの関係を実証分析している。株主資本コストの算出に Fama-French 3 ファクターモデルを用いているところが特徴である。久保田報告書「日本企業の為替リスク管理（中）」は第 1 巻に掲載の報告書の続編であり、為替変動が日本企業の会計的リスクに与える影響を理論面および実態面から分析している。清水報告書「Open the Door: 日本は誰に扉を開けばいいのか？」は人口減少と高齢化が日本経済に及ぼす影響と日本が取りうる政策について、著者の研究に基づいた展望を行っている。中井報告書「ストックオプション事件の再考」はストックオプションにより得た利益の所得区分について争われた事案を議論している。新藤報告書「企業年金の課題と将来像」は年金資産運用のリスクをデータをもとに分析し、年金の将来像について提言を行っている。西脇報告書「廃棄物処理・リサイクル事業の海外展開」は廃棄物処理とリサイクル事業の実態についてデータと実例を用いた解説を行い、海外展開に向けた課題について提言を行っている。

本報告書の作成には麗澤大学経済社会総合研究センターからの助成を受けた。ここに記して関係各位に感謝したい。

2017 年 2 月 上村昌司

---

\* 麗澤大学経済社会総合研究センター Working Paper No.74, <https://reitaku.repo.nii.ac.jp/> よりダウンロード可。